

4 観光直売に適したブドウ優良品種の選定

ねらいと成果

本県のブドウは、都市近郊の立地条件を生かした観光農園や直売所を通して販売されることが多い。既に、当センターは品種特性や消費者に対する嗜好性調査により、黒系では「藤稔」、「ピオーネ」、赤系では「安芸クイーン」、緑系では「ハニービーナス」を優良品種として推奨している。最近、新たな品種を導入し、その栽培特性を検討するとともに、嗜好性についても調査した。

その結果、赤系では「ゴルビー」、緑系では「シャインマスカット」が収量、品質、嗜好性の面で優良品種と考えられた。

内容

供試樹は、表に示した、所内ブドウ園に植栽された4～17年生樹である。栽培方法は、本県で一般的な短梢せん定、H型整枝、主枝長16mである。また、無核化処理は1回目ジベレリン16.7ppm、2回目同25ppmにより行った。

果実品質は、黒系の「高妻」は、「ピオーネ」と比べて熟期はやや早く、着色も良好であったが、果粒重はやや小さかった(表)。赤系では、「ゴルビー」は「安芸クイーン」と比較して糖度はやや低かったが、収量が多く、果粒重も大きく、着色も優れていた。緑系では、「ハニービーナス」と比べて、「翠峰」は糖度が

やや劣るものの、房重、果粒重とも著しく大きかった。また、「シャインマスカット」も房重、果粒重が大きく、酸含量が少なかった。なお、いずれの品種とも特に目立った生理障害はみられなかった。

「藤稔」を対照に嗜好性を調査した結果、「ゴルビー」、「翠峰」は外観の評価が高く、「安芸クイーン」、「シャインマスカット」は食味の評価が高かった(図)。

以上、赤系では「ゴルビー」、緑系では「シャインマスカット」が収量、品質及び嗜好性の面で優良と考えられた。

今後の方針

優良品種の栽培特性を明らかにするとともに、その高品質生産技術を検討する。

水田 泰徳 (農業技セ・園芸部)

(問い合わせ先 電話: 0790-47-2424)

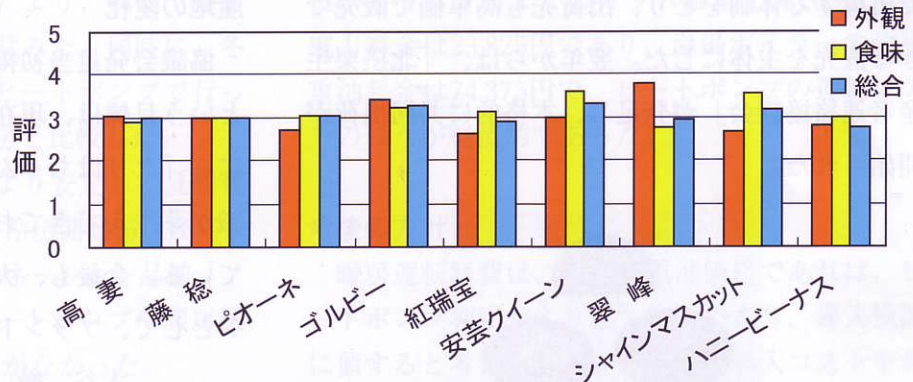


図 ブドウ推奨及び有望品種の果実に対する嗜好性
職員、学生計44名を対象に、藤稔を基準(3)として、優る:5、やや優る:4、同等:3、やや劣る:2、劣る:1として評価

表 ブドウ推奨及び有望品種の収量、果実品質

品種	収穫日	収量(t/10a)	果房重(g)	果粒重(g)	果皮色	糖度	酸含量(%)	種子数/粒
黒系	高妻	9/14	1.34	503.2	15.0	8.7	20.4	0.0
	藤稔	8/27	1.66	464.5	16.7	9.7	19.4	0.3
	ピオーネ	9/25	1.48	508.5	17.2	7.4	20.3	0.0
赤系	ゴルビー	9/5	1.44	495.6	16.6	4.3	18.8	0.0
	紅瑞宝	9/7	1.27	444.6	11.1	0.0	20.9	0.0
	安芸クイーン	9/14	1.08	475.7	13.7	1.9	21.9	0.0
緑系	翠峰	9/18	1.53	686.3	18.5	—	17.9	0.0
	シャインマスカット	9/19	1.63	559.1	11.8	—	20.8	0.2
	ハニービーナス	9/18	1.15	483.5	11.0	—	22.1	0.5

(注)果皮色は黒色系カラーチャート値